

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月25日		記入者	内線	5152
部 名	学校教育部	課 名	青少年相談センター	課長名	鹿俣 克美
事務事業名	青少年・教育相談事業				
予算上の事務事業名	同上				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14125		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市立青少年相談センター条例施行規則 相模原市青少年教育相談員に関する要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 窓口・相談 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
青少年の心の成長と心の問題に関わる相談業務				児童 生徒 保護者 教職員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
青少年相談センターでの青少年・教育相談 相談延件数 9,297件 市内全市立小・中学校での学校出張相談 青少年教育相談員 33名 相談延件数 23,558件 小学校 17,545件 中学校 6,013件 中学校支援教室への相談員派遣					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施している。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	135,129	127,130	124,948	125,165	140,565
一般財源	128,603	123,312	124,229	124,353	139,753
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	6,526	3,818	719	812	812
人件費の合計	41,950	40,159	40,459	40,459	40,459
事業コスト合計(a)	177,079	167,289	165,407	165,624	181,024
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	青少年・教育相談事業			対象名称 (単位)	相談件数(件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	26,360	29,806	32,855	33,000	36,000
対象数	35	34	33	33	33
単位あたり経費(円)	753,143	876,647	995,606	1,000,000	1,090,909
前年度比		1.16	1.14	1.00	1.09

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	教育相談件数	指標式と指標の説明		来所・電話・学校出張相談年間件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	26,360.0	29,806.0	32,854.0		
目標	0.0	0.0	0.0	33,000.0	36,000.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	教育相談件数	指標式と指標の説明		相談件数 / 相談員数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	26360.0	29806.0	32854.0		
目標	0.0	0.0	0.0	33000.0	36000.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		青少年に関わる相談は年々増加しており、本人はもとより保護者や教職員に対する支援の充実が必要であり、更に充実すべき事業である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 全市立小・中学校へ週1回の相談員の派遣の実現			14 課題として認識されたこと 関係機関との連携 非常勤職員の採用		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			